

序論)報いがあると人は励まされる

- 調査データ:報酬があることで業績は大きく向上する(最大+44%)
- 感謝・称賛のことばの効果(+88.8%)
- キリスト者にも「報いのある人生」が約束されている

前回の振り返り)

- コリント教会の問題:派閥・妬み・争い＝「肉の人」
- 幼子のように霊的に未熟だった人々

1)アポロとパウロの役割:報いてくださるのは【主】

- 奉仕者＝「しもべ」「給仕」
- 成長させるのは人ではなく【主】(v.6-7)
- 霊的成長の源は【主】の働き
- 説教者も【主】のための同労者(v.8-9)
- 働きに応じて【主】が報酬を与えてくださる

応用:

- カリスマ的な説教者や YouTube 牧師に依存しすぎてはならない
- 信頼すべきは人でなく【主】なる神様

2)報いを受け取るための注意点(v.10-15)

① キリストだけが唯一の土台(v.10-11)

- 土台＝イエス・キリストのみ
- すでに与えられた完成した恵み(アオリスト)

② 建物の材料＝人生の実(v.12-15)

- ・ 「金・銀・宝石」:燃えない、価値あるもの
- ・ 「木・草・藁」:燃える、価値のないもの
- ・ 【主】の「火の試練」がその働きを試す
- ・ 建物が残れば報い、焼ければ損失(救いは失われない)

高価なものとは？

- ・ 御霊の実、信仰、へりくだり、従順な実践

無価値なものとは？

- ・ 偽善、高慢、愛のない行動、人目を意識した信仰

関連イメージ:

- ・ イエス様のたとえ話:岩の上に建てる vs. 砂の上に建てる家
→聞いて行う者は残り、聞くだけの者は崩れる

結論)報いある人生を生きよう

応答のポイント2つ:

1. キリストという土台の上に立ち続ける
2. キリストの土台の上に何を建てているか吟味する

→ 御霊の実を結び、みことばを行い、報いを受ける人生を目指そう

★応答の時

- ・ みことばを黙想し、「私の応答」欄に祈りや決心を記す
- ・ キリストの土台の上に、【主】が高価とされるものを積み上げていこう